

BSO 操作盤取扱説明書

目次

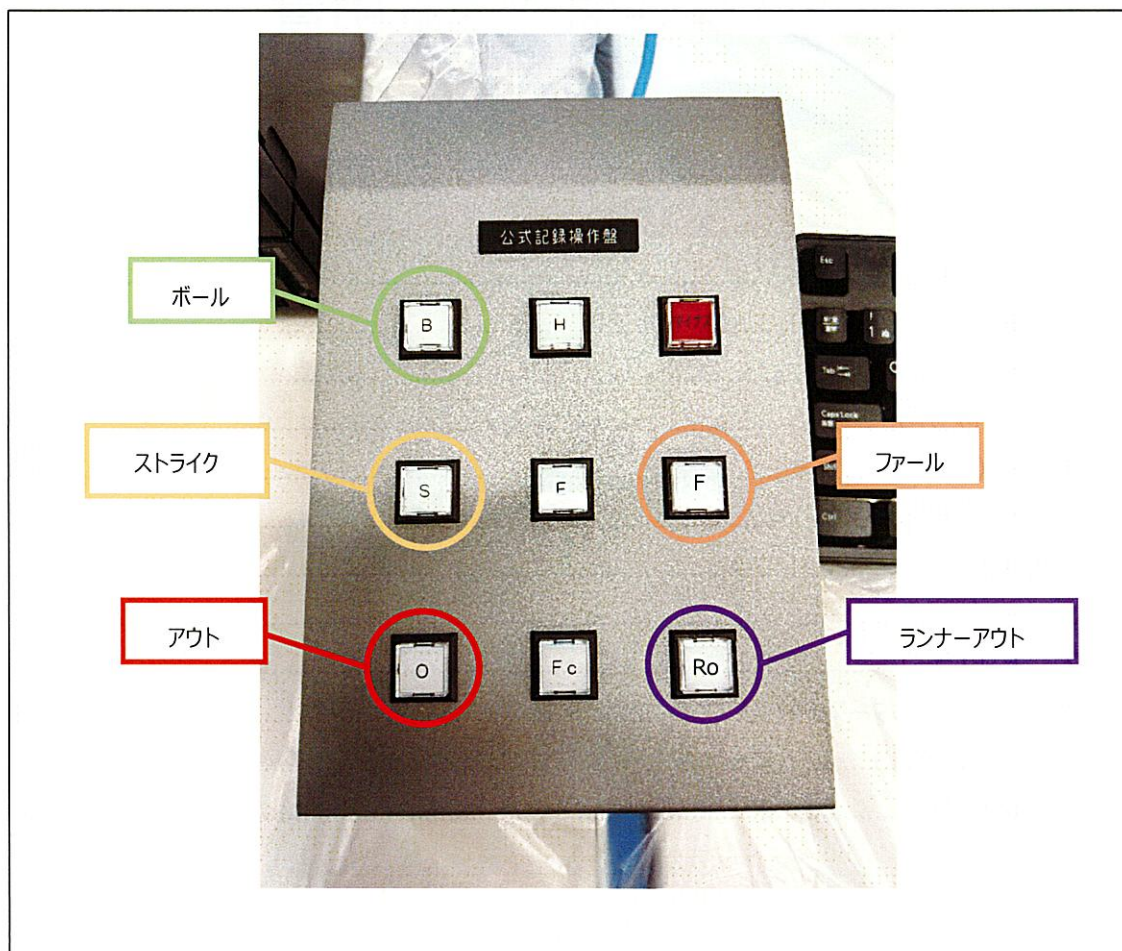
1.	BSO カウントアップ	2
1.1.	B (ボール)	2
1.2.	S (ストライク)	2
1.3.	O (アウト)	3
1.4.	F (ファール)	3
1.5.	RO (ランナーアウト)	3
2.	HEFc 表示	4
2.1.	H (ヒット)	4
2.2.	E (エラー)	4
2.3.	Fc (フィルダースチョイス)	4
3.	マイナスボタン	5
4.	投球数連動	6

1. BSO カウントアップ

以下のボタンを押下することでスポーツコーダーと連携し、の BSO カウントを変更することができます。

ボタンは押されると 1 秒間点灯し、その間 BSO 操作盤の操作はできなくなります。

以下で各ボタンを押したときの動作を説明します。



1.1. B (ボール)

- ・ボールカウントが 0～2 : ボールカウントが 1 増加する。
- ・ボールカウントが 3 : ボール、ストライクカウントが 0 になる。

1.2. S (ストライク)

- ・ストライクカウントが 0、1 : ストライクカウントが 1 増加する。
- ・ストライクカウントが 2 : ボール、ストライクカウントが 0 になり、アウトカウントが 1 増加する。

1.3. O (アウト)

- ・アウトカウントが 0、1 : ボール、ストライクカウントが 0 になり、アウトカウントが 1 増加する。
- ・アウトカウントが 2 : BSO のカウントがすべて 0 になる。

1.4. F (ファール)

- ・ストライクカウントが 0、1 : ストライクカウントが 1 増加する。
- ・ストライクカウントが 2 : カウントは変化しない。

1.5. RO (ランナーアウト)

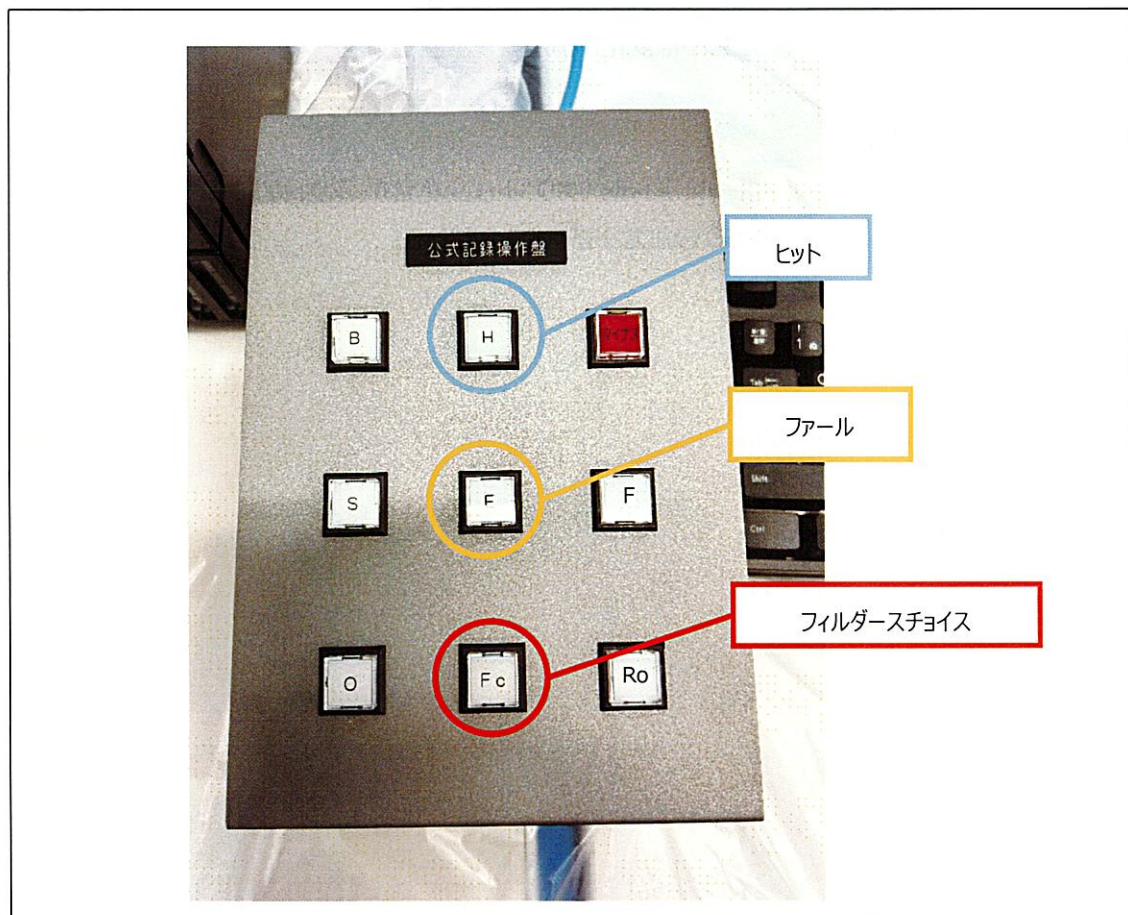
- ・アウトカウントが 0、1 : ボール、ストライクカウントは変化せず、アウトカウントが 1 増加する。
- ・アウトカウントが 2 : BSO のカウントがすべて 0 になる。

2. HEFc 表示

以下のボタンを押すとボタンは 3 秒間点灯し、その間 BSO 操作盤の操作はできなくなります。

また、以下のボタンを押した際、ボール、ストライクカウントは 0 になります。

以下で各ボタンを押したときの動作を説明します。



2.1. H (ヒット)

ヒットカウントが増加し、ヒットランプが一時点灯する。

2.2. E (エラー)

エラーカウントが増加し、エラーランプが一時点灯する。

2.3. Fc (フィルダースチョイス)

フィルダースチョイスランプが一時点灯する。

3. マイナスボタン

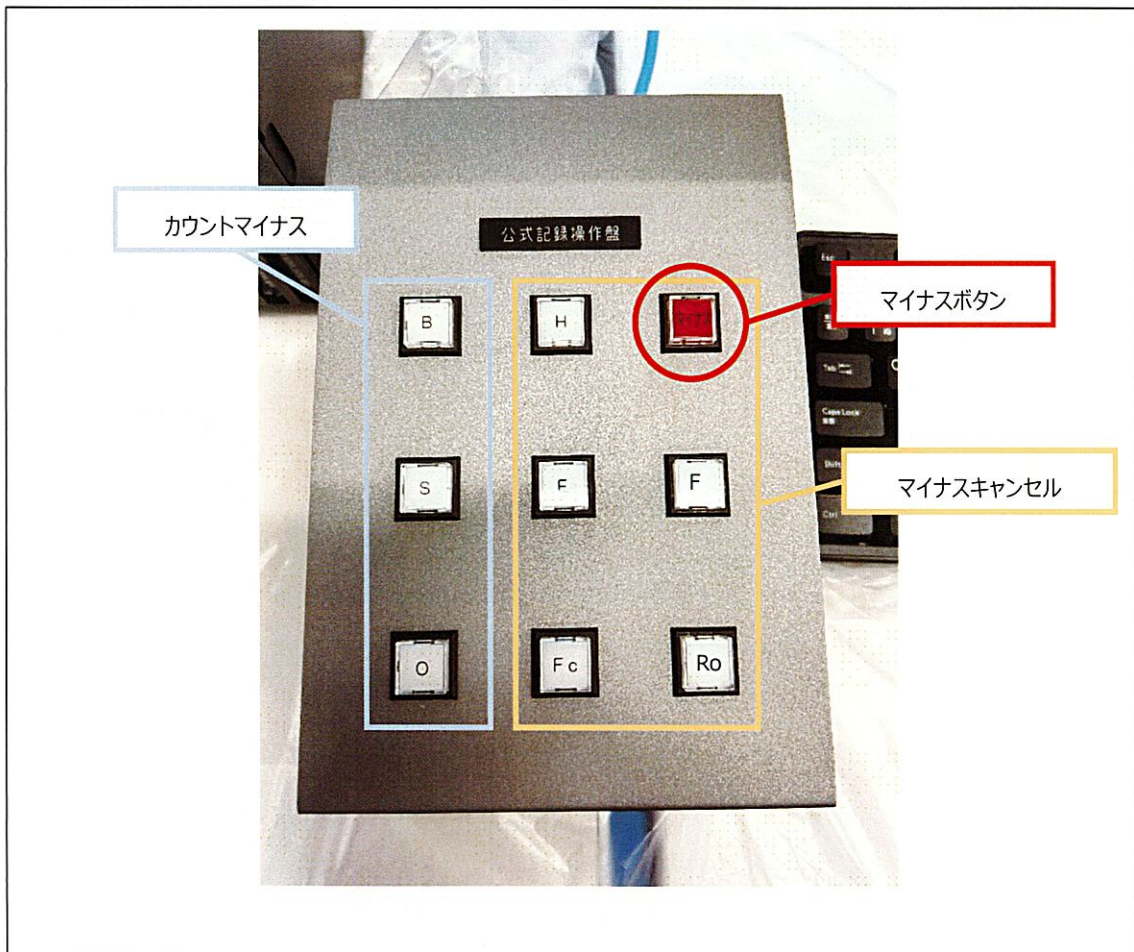
カウントをマイナスしたい際に使用します。

マイナスボタンを押下するとボタンが赤く点灯します。

ボタンが点灯している状態で BSO いずれかのボタンを押下することで、BSO カウントが 1 減少します。

マイナスボタンが点灯している状態で、BSO 以外のボタンを押下することで、マイナスをキャンセルすることができます。

カウントが 0 の状態でマイナス処理を行ってもカウントはマイナスされません。



4. 投球数連動

スポーツコーダー上で投球数連動を選択すると、投球数が BSO 操作盤の操作に連動して、自動でカウントアップしていきます。

詳細な説明は、「スポーツコーダー 取扱説明書(野球).docx」を参照してください。